



「あーん」と語りかけながら離乳食をあげる生徒

## 命の大切さを学ぶ

車力中学校(中道人子校長)の3年生34人が6月20日、市民健康づくりセンターで行われた「赤ちゃんふれあい教室」に参加し、育児体験を通じて命の大切さを学びました。

この日の教室は、親子15組の協力を得て4グループに分かれてスタート。最初は硬い表情で赤ちゃんに接していた生徒たちでしたが、時間が経つにつれ、上手に抱っこやおむつ替えが出来るようになっていました。また、子どもの成長の喜びや名前の由来などについてお母さんに質問し、親の愛情を感じながら将来の育児をイメージしている様子でした。小山内梨子さんは「おむつ替えを初めてやってみて、見ているよりとても大変だった。今日の体験を将来に生かしたいと思います」と振り返りました。

## 未来につなごう緑のまち

市観光物産協会(川嶋大史会長)が主催する植樹祭が6月21日、イオンモールつがる柏の駐車場で開催されました。

これは緑化によりきれいなまちづくり推進を目的として毎年実施しているもので、今年は同協会の会員と地元の小学生ら約90人が参加しました。開会式でかしわ小緑の少年団(柏小4年)の藤田旺志郎さんと成田みなみさんが「緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動をとおして、イオンモールつがる柏の森を未来につなぎます」と宣言し、参加者らはツツジの苗木60本を手分けして丁寧に植えていきました。同協会の小山内金弥副会長は「自分で植えた木を毎年見に来て欲しい。この活動が地元愛を深めるきっかけとなれば」と期待していました。



協力して苗木を植えていく参加者



かかし作りを通じてみんな笑顔で交流

## かかし共同制作で交流促進

東北防衛局主催で6月26、27の両日、米陸軍車力通信所と地域住民の交流を目的とした「かかし作りプロジェクト2019inつがる」が車力体育センターで開催され、車力小学校(藤田敏幸校長)児童と通信所のメンバーらが親交を深めました。

初日は同小5年生や米軍メンバーら約50人が6チームに分かれて制作。稲垣藁の会(野崎克行会長)会員のサポートのもと、藁を棒に巻き付け頭や胴体を作り、顔や衣装に工夫を凝らして個性的に仕上げました。毛内愛可里さんは「チームのみんなで作るのが楽しく、米軍の人とも協力できた」と笑顔。ハリス・ダン副中隊長は「子ども達の笑顔を見て心が温かくなった。地域の人たちと交流を深め、助けになりたい」と話していました。

## ウォークで親睦深める

市体育協会(成田昭司会長)主催の「第4回まちなか健康ウォーク」が6月30日、市民健康づくりセンターを主会場に開催されました。開会式で成田会長は「このイベントは皆さま方の健康と親睦を図る意味で開催しています。まちの裏通りや見たことのない景色を堪能してください」とあいさつ。好天に恵まれたこの日、市民ら約110人は4kmと10kmのコースに分かれて、中心商店街や公園内などを散策し、爽やかな汗を流しました。

10kmコースに初参加した市内60代女性は「歩いているうちに友だちができたことが一番嬉しかった」と話し、友人となった市外30代女性は「体調に不安があったが楽しく話していたら完歩できた」と笑顔を見せました。



晴天の中それぞれのペースでまちなかウォーク



## つがるを舞台に五・七・五

つがる俳句会(石田かつら代表)主催のつがる俳句大会が6月30日、松の館を主会場に行われました。参加者は事前に投句する「宿題」と当日に即興で詠む「席題」計4句まで投句することができ、各句7、8人の審査員がそれぞれ優秀作品15句を選句。順位は4つの総合得点で決めるというのが大会のルール。上位には、市長賞、市議会議長賞、教育長賞が授与されます。

この日は、県内外の愛好者77人が席題の舞台となる高山稲荷神社を訪れ、豊かな情景を五七五に乗せていました。午後は松の館で選句が披露され、会場が盛り上がりを見せていました。市長賞：泉風信子さんの主な作品。お題は「新田」詠み込み  
「新田の哀史扇子を止めて聞く」



席題の会場となった高山稲荷神社



作文を発表する葛西君

## 安全で安心な地域社会を築こう

第69回「社会を明るくする運動」市民集会在7月2日、松の館で開催され、犯罪や非行のない地域社会を実現しようと、市民ら約400人が集いました

集会では、向陽小6年の鈴木梨心さんと伊藤ららさんが「つがる市が心も体も元気な子どもたちでいっぱいになるように頑張ります」と力強く宣誓。社会を明るくする運動作文の発表では、田戸岡樹君(瑞穂小6年)と葛西輝君(木造中3年)、高橋みのりさん(木造中3年)の3人が、自身の体験から学び考えたことを来場者に伝えました。

最後のアトラクションでは、県警察音楽隊の迫力ある演奏とカラーガード隊の華麗な演技が会場を盛り上げました。

## 来館者80万人を突破

7月5日、市立図書館の来館者が80万人に達し、「来館者80万人達成セレモニー」が行われました。

この日80万人目となったのは、鶴田町在住の田澤笙子さん。田澤さんは「資格取得に向けて週3回は来ています。いろいろな図書館に行きましたが、中でもここは設備が整った利用しやすい施設ですね」と話していました。

市立図書館は、平成28年7月29日に開館し、平成30年4月には来館者50万人を突破。今回の80万人に葛西館長は「生涯学習の場として、多くの皆さんが活用してくれている。今後も、豊かなくらしを育む図書館を目指してまいります」と抱負を述べました。



葛西館長(教育長)から記念品を受け取る田澤さん



健闘を誓う車力柔道少年団

## 東北代表の誇りを胸に、いざ全国へ

5月12日に開催した第32回マルちゃん杯東北少年柔道大会(岩手県営武道館)の団体戦に、車力柔道少年団が出場。東北6県の強豪74チームが争うトーナメントを勝ち進み、3位の成績を収めました。これにより、同少年団は9月22日に東京武道館で開催される全国大会へ出場します。

7月5日、選手らは坂本豪世監督に率いられ福島市長へ全国出場を報告。主将の横山琉愛さん(稲垣小6年)は「東北代表の自覚を持ってがんばりたい」と健闘を誓いました。

なお横山さんは、6月9日開催の第16回全国小学生学年別柔道大会県予選会の個人戦(女子6年生45kg超級)で優勝し、8月11日の全国大会(愛媛県武道館)にも出場します。